



第78期 株主通信

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

ニチレキ株式会社

証券コード：5011

ニチレキグループ企業理念

基本理念 (種播き精神)

種を播き、水をやり、花を咲かせて実らせる
たゆみない努力の積み重ねによって絶えず新しい仕事を創造していきます。

経営理念

ニチレキグループは、「道」創りを通して社会に貢献するため、

- ▶ 優れた機能とコストを満足する道路舗装材料ならびに工法の提供
- ▶ 国民の共有資産である「道」をいつも見守る高度なコンサルティング
- ▶ 顧客から信頼される施工技術

これらを完全に一体化し、株主をはじめ幅広い顧客の皆様から信頼される「道」創りになくてはならない収益性に優れた企業グループであり続けるとともに、社員一人ひとりが能力を発揮でき、働きがいのあるグループであることを経営理念とします。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第78期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期における我が国経済は、基調としては新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が続きましたが、ワクチン接種が進む中で厳しさが緩和される局面もあり、世界的なデジタル需要の拡大等を背景に企業収益が改善するとともに、個人消費や設備投資を中心に持ち直しの動きも見られました。もっとも、感染症再拡大への警戒感が解消されない中で、ウクライナ情勢の緊迫化に伴う円相場の下落や物価の上昇等も加わり、景気は依然として先行き不透明感の強い状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境につきましては、防災・減災、国土強靱化対策など建設需要の高まり等を背景に公共投資が堅調に推移しているものの、原油価格の高騰や円安の進行等の業績下押し要因に注視を要する状況が続きました。

こうした事業環境の中で、当社グループは、2021年度を初年度とする新たな中期経営計画『しなやか2025』を策定し、迅速かつ的確な意思決定のもと、組織一丸となって持続可能な企業グループとして成長していくことを目指し、各施策を実行してまいりました。

その結果、当期の連結業績は、営業利益、経常利益は前期を下回ったものの、売上高、親会社株主に帰属する当期純利益は前期を上回ることができました。

今後の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症への対策がさらに進み、経済社会活動が正常化する中で、景気回復が本格化していくことが期待されます。ただし、感染症再拡大のリスクがあることに加え、ウクライナ情勢等による先行き不透明感もあり、食料・資源等の価格動向や為替相場の変動といったリスクにも引き続き警戒していく必要があります。

当社グループを取り巻く環境につきましては、引き続き防災・減災や国土強靱化対策等の高水準の公共投資が期待される一方、原油価格の上昇や円安の進行等による原材料価格の高騰や、半導体不足等に伴う資材等の調達面での制約等も予想される状況にあります。

このような事業環境の中、当社グループは中期経営計画『しなやか2025』を強力に推進し、迅速かつ的確な意思決定のもと、直面する様々な変化にしなやかに対応していくことで、高い成長性とESG重視を兼ね備えた持続可能な企業グループを目指してまいります。

当社は、本年4月に東京証券取引所の市場区分の再編において、ガバナンス水準のさらなる高度化と、企業価値の向上を図るべく、『プライム市場』に移行いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



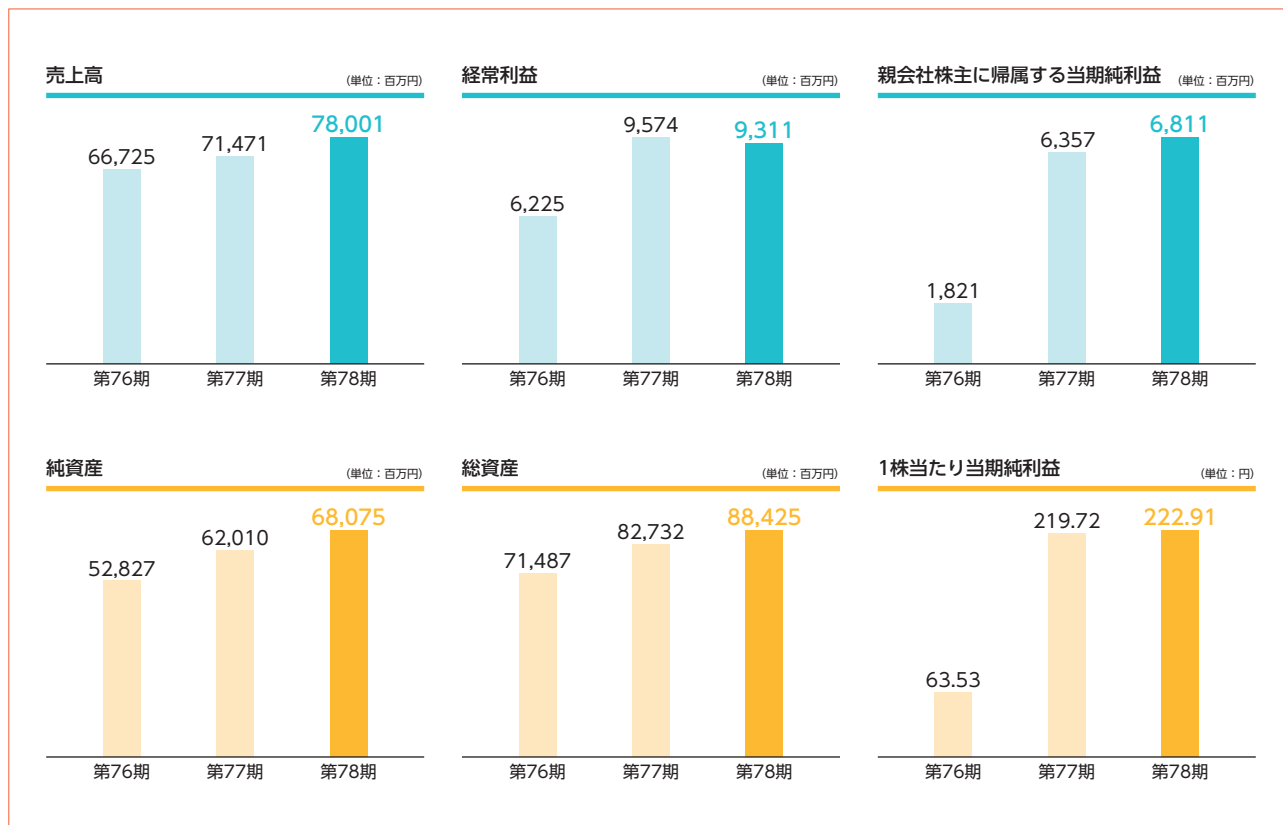
代表取締役社長
小幡 学

営業の概況

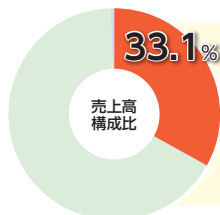
営業成績

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は78,001百万円（前期は売上高71,471百万円）、営業利益は8,566百万円（前期比6.3%減）、経常利益は9,311百万円（前期比2.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は6,811百万円（前期比7.1%増）となりました。なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等の適用により、売上高は507百万円減少しております。

財務ハイライト



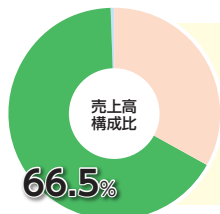
事業別概況



● アスファルト応用加工製品事業

アスファルト応用加工製品事業につきましては、原材料価格上昇への対応に加え、「長寿命化・高性能化」や「環境負荷低減」などに寄与する高付加価値製品の設計・受注活動の推進により販売拡大に努めてまいりました。

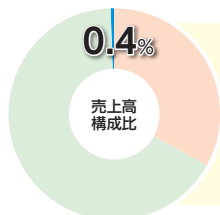
売上高は25,796百万円（前期は売上高20,583百万円）となり、セグメント利益（営業利益）は6,598百万円（前期比3.2%増）となりました。



● 道路舗装事業

道路舗装事業につきましては、防災・減災、国土強靱化対策を始めとする工事が順調に進捗したことに加え、原価管理の強化に努めてまいりました。

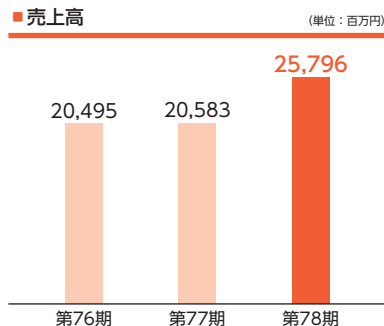
売上高は51,901百万円（前期比2.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は4,996百万円（前期比4.1%減）となりました。



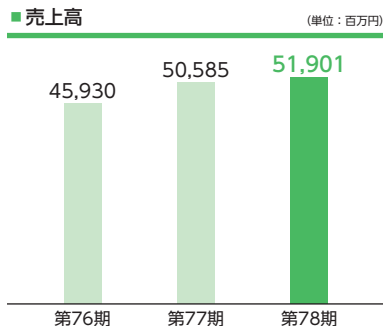
● その他

その他につきましては、不動産賃貸収入などにより、売上高は303百万円（前期比0.4%増）となり、セグメント利益（営業利益）は227百万円（前期比4.2%増）となりました。

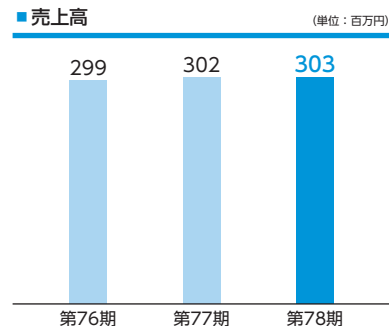
● アスファルト応用加工製品事業



● 道路舗装事業



● その他



DXの取り組み

スマートフォンによる道路点検システム「GLOCAL (グローバル) -EYEZ (アイズ)」※ によるニチレキのインフラ管理DX

高度経済成長期に集中的に整備された道路舗装は、今後一斉に老朽化することが懸念されており、多くの地方公共団体では、点検結果に基づく計画的な舗装修繕が実施されています。従来の点検は、専用の車両と調査員が道路を調査してデータを持ち帰り、専用の解析員が人力で道路の損傷を解析して点検結果をとりまとめていました。このため、点検から結果確認まで数か月かかっていた。

そこで、ニチレキは、生産性向上に向けて道路点検・管理業務のDXに取り組みました。

「GLOCAL-EYEZ」は、誰もが持っているスマートフォンを乗用車に取り付けて舗装道路を撮影し、スマートフォンから直接クラウドサーバにデータ送信することで、数時間でAIが損傷を解析して即日インターネット上で点検結果を確認できます。これにより、誰でも簡単に、効率よく道路点検ができるようになりました。

ニチレキは、この「GLOCAL-EYEZ」により道路点検業務のDXを図り、安全・安心な道路インフラ管理に貢献してまいります。

※「GLOCAL-EYEZ」は東京大学長山教授、株式会社スマートシティ技術研究所との共同開発システムです。

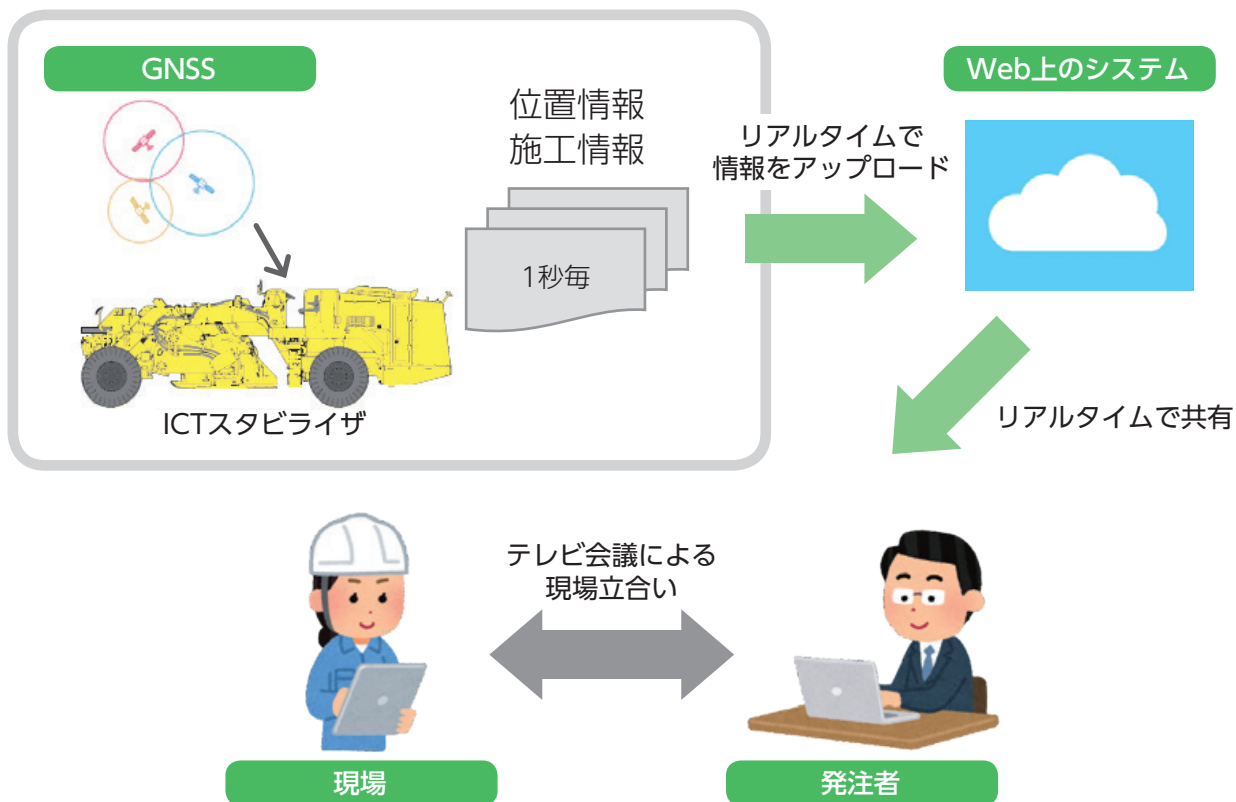
「GLOCAL-EYEZによる道路点検」



ICT搭載型ロードスタビライザによる新たな施工管理

スタビセメントRC工法（路上路盤再生工法）で使用するロードスタビライザにセンサ等を取り付け、各種データをリアルタイムで測定しながら施工することで、施工管理・品質管理の向上を図っています。

さらに、インターネットを通じて本データをリアルタイムで共有することができ、発注者を含む工事関係者は、どこにいても、現在行われている施工状況や測定データを確認することが可能です。このシステムを段階検査に活用し、国土交通省が推進する遠隔臨場の支援ツールとして提供してまいります。



第43回「2022日本BtoB広告賞」で最優秀賞「経済産業大臣賞」を受賞

この度、当社が2021年7月26日、8月3日の2週にわたり日本経済新聞朝刊に掲載したシリーズ広告が第43回「2022日本BtoB広告賞」の最優秀賞である「経済産業大臣賞」を受賞しました。去る6月2日にロイヤルパークホテル（中央区日本橋）にて表彰式が執り行われ、当社からは代表取締役社長の小幡学が出席いたしました。

今回の広告では、「なくてはならないインフラだからこそ、なくてはならない環境対策がある。」というタイトルで、アスファルト舗装分野において、長寿命化とリサイクルの促進によってCO₂の削減に取り組む当社の技術開発の姿勢を表現しました。

審査委員の方からは「広告主の製品・サービス、技術が社会に対してどのように貢献しているのか、そして企業の使命は何なのかということを訴求している」とのご講評をいただき、当社が本広告に込めたメッセージを皆様にお伝えすることができたと感じております。

※日本BtoB広告賞は1980年にスタートしたBtoB広告の普及・振興を目的としたコンテストです。企業コミュニケーション活動や制作にかかわる総合技術などの観点から、有識者による選考が行われ、最優秀賞である経済産業大臣賞は、新聞広告、雑誌広告、ポスター、ウェブサイト他、全13部門の金賞作品の中から1点が選ばれるものです。



2021年7月26日掲載広告



表彰楯とトロフィー



第43回
「2022日本BtoB
広告賞」入賞作品

2月に個人投資家向け会社説明会を実施

2022年2月1日、当社は個人投資家向け会社説明会をオンラインで実施しました。当日は代表取締役社長の小幡学が実演や写真を交えながら、当社の具体的な主力製品・工法の紹介を行ったほか、ニチレキグループのビジネスモデルや技術開発の現況についても説明いたしました。参加された個人投資家の皆様からは事業内容への理解度が高まった、投資対象としての魅力を感じたといったお声を数多く頂戴することができました。

当社は積極的な情報発信とコミュニケーションを通して、株主・投資家の皆様との信頼関係をより確かなものにし、「道」創りになくてはならない企業グループとしてさらなる企業価値向上を図ってまいります。



アスファルト乳剤の特性を実演により説明



セミナー動画

連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

(単位：百万円)		
科目	第77期	第78期
資産の部		
流動資産	52,076	56,561
固定資産	30,656	31,864
有形固定資産	21,136	22,384
無形固定資産	728	685
投資その他の資産	8,791	8,794
資産合計	82,732	88,425
負債の部		
流動負債	18,926	19,441
固定負債	1,796	908
負債合計	20,722	20,349
純資産の部		
株主資本	59,088	65,177
資本金	2,919	2,919
資本剰余金	3,430	3,681
利益剰余金	53,574	59,235
自己株式	△835	△659
その他の包括利益累計額	2,908	2,897
その他有価証券評価差額金	2,093	1,889
繰越ヘッジ損益	318	332
為替換算調整勘定	6	109
退職給付に係る調整累計額	490	566
新株予約権	12	—
純資産合計	62,010	68,075
負債及び純資産合計	82,732	88,425

連結損益計算書

(単位：百万円)		
科目	第77期	第78期
売上高	71,471	78,001
売上原価	53,035	59,681
売上総利益	18,436	18,320
販売費及び一般管理費	9,296	9,754
営業利益	9,140	8,566
営業外収益	469	786
営業外費用	35	41
経常利益	9,574	9,311
特別利益	231	724
特別損失	455	168
税金等調整前当期純利益	9,350	9,867
法人税、住民税及び事業税	3,023	2,964
法人税等調整額	△30	90
法人税等合計	2,992	3,055
当期純利益	6,357	6,811
親会社株主に帰属する当期純利益	6,357	6,811

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)		
科目	第77期	第78期
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,098	7,737
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,694	△2,361
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,512	△1,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	35
現金及び現金同等物の増減額	5,929	3,980
現金及び現金同等物の期首残高	17,181	23,110
現金及び現金同等物の期末残高	23,110	27,091

会社概要 (2022年3月31日現在)

会社の概要

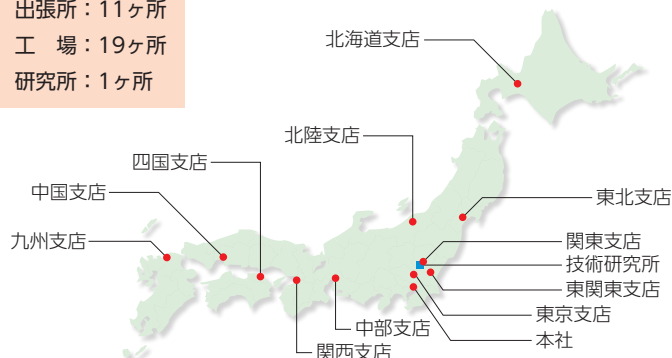
商 号	ニチレキ株式会社
本 社 所 在 地	東京都千代田区九段北四丁目3番29号
設 立	1949年9月
資 本 金	29億1千9百万円
従 業 員 数	958名（連結）、431名（単体）

主な事業内容

- アスファルト応用加工製品の製造・販売・建築・土木用資材の製造加工・販売
- 道路舗装工事・防水工事・上下水道工事ならびにその他の土木工事の請負およびこれらに関する調査・設計・監理
- 測量・地質調査
- コンピュータ情報サービス・ソフトウェアおよび情報処理機器の開発・販売
- 屋内外の各種表示および広告の企画・設計・施工ならびにこれらに使用する印刷物の製造および販売

事業所（2022年4月1日現在）

支 店：11ヶ所
営業所：37ヶ所
出張所：11ヶ所
工 場：19ヶ所
研究所：1ヶ所



取締役・監査役一覧 (2022年6月29日現在)

	學司美吉一勇淳也修子也子昭彦勉子
	裕勝昭清達晴琢 詠美正昭典
	幡口里入本澤本藤林村處田原岡谷手
	小川江羽根長山伊小渋城福野形蟹川
代表取締役社長	
代表取締役副社長	
専務取締役	
常務取締役	
常務取締役	
取得取締役	
取得取締役	
取得取締役	
取得取締役	
取得取締役	※1
取得取締役	※1
取得取締役	※1
取得取締	※1
勤監査役	
監査役	
監査役	
監査役	※2
監査役	※2

※1 社外取締役であります。

※2 社外監査役であります。

主な子会社（2022年4月1日現在）

北海道ニチキ工事株式会社

東北ニチレキ工事株式会社

日瀝道路株式会社

日レキ特殊工事株式会社

中部二チレキ工事株式会社

近畿ニチレキ工事株式会社

中国二チレキ工事株式会社

四国二チレキ工事株式会社

朝日工業テクノス株式会社

九州ニチレキ工事株式会社

ラインファルト工業株式会社

株式情報 (2022年3月31日現在)

株式の状況

● 発行済株式総数および株主数

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数*	30,568,618株
株主数	4,036名

※ 自己株式1,117,337株を除く。

● 大株主

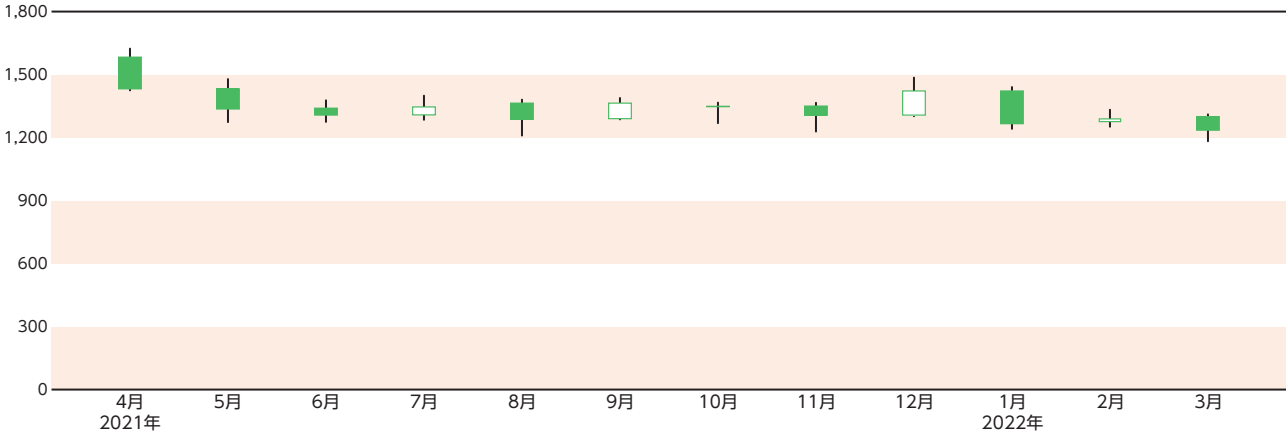
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	3,726	12.19
光通信(株)	1,681	5.50
ニチレキ取引先持株会	1,339	4.38
(株)日本カストディ銀行 (信託口)	1,197	3.92
(株)みずほ銀行	1,108	3.63
三井住友信託銀行(株)	1,100	3.60
(公財)池田20世紀美術館	630	2.06
ニチレキ従業員持株会	536	1.76
(株)三菱UFJ銀行	529	1.73
(株)日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・鹿島道路(株)退職給付信託口)	524	1.71

(注) 1. 当社は自己株式1,117,337株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

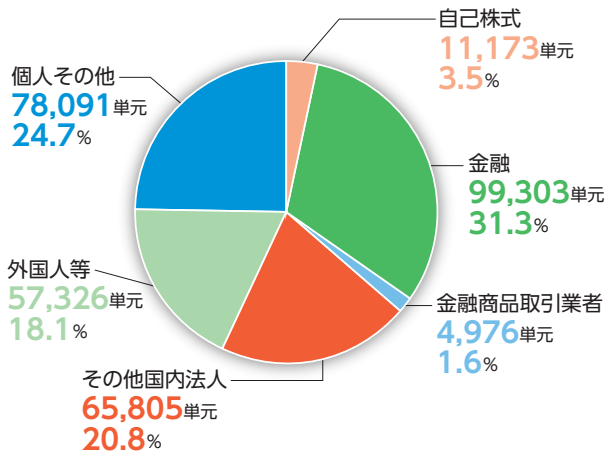
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 株価の推移

株価(円)



所有者別株式分布状況



(注) 上記株式数および構成比率には、単元未満株式18,555株は含まれておりません。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで

単元株式数 100株

定時株主総会 毎年6月

期末配当基準日 毎年3月31日

公告方法 電子公告

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱所 168-0063

(郵便物送付先・
お問い合わせ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部
Tel.0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

三井住友信託銀行株式会社のフリーダイヤルまたはホームページ

●フリーダイヤル 0120-782-031

●ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

ご注意

▶住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



「IR情報」サイトのご案内

当社ホームページの「IR情報」サイトでは、
株主・投資家の皆様向けの情報として、
決算発表資料等を適時掲載しております。
ぜひご活用ください。



URL: <https://www.nichireki.co.jp/investors/>

ニチレキ株式会社

<https://www.nichireki.co.jp/>

〒102-8222 東京都千代田区九段北4-3-29

TEL : 03-3265-1511 FAX : 03-3265-1510



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。